

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		図書等整備事業						予算事業名		図書等整備事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令								
				10	05	05	2001	経常経費									
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ②地域教育体制の充実 3図書館サービスの充実							事業の区分		主要事業						
											重点事業						
									担当課係等		生涯学習課						
												生涯学習係					
事業期間		継続 (年度～平成32年度)															
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
図書館利用者及び市民の教養・知識が向上し、文化的に潤いのある生活ができるようになる。								市民の要望並びに憲法(第21条、第23条、第25条、第26条等)及び教育基本法及び社会教育法の「生涯学習」の理念を踏まえた図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。									
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】									
○図書・視聴覚・逐次刊行資料の収集・整備 ○資料提供(資料の閲覧提供・資料の貸出) ○情報提供(ホームページによる利用案内、検索サービス等) ○新規購入及び寄贈図書の整備(ＩＣタグの貼付等) ○レファレンスサービス								図書館利用者及び市民									
								【事業をとりまく環境の変化】 現在の公共図書館を取り巻く環境としては、「少子高齢化の進展」「経済・雇用情勢の変化」「高度情報化社会の進展」等の社会情勢の変化により、新たな視点に基づく役割やサービスが求められているが、ゆうき図書館としても今までの資料の貸出サービスに加え、市民が求める情報をより的確に提供できるためのレファレンスサービスの強化を重点的に対応していく。									
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】									
○資料の収集・整備(図書・視聴覚・逐次刊行資料の収集・整備) ○資料・情報の提供(閲覧・館外貸出) ○地域支援(子育て・ビジネス・行政支援等の情報収集・提供) ○利用者支援(施設・設備の利活用促進)				○資料の収集・整備(図書・視聴覚・逐次刊行資料の収集・整備) ○資料・情報の提供(閲覧・館外貸出) ○地域支援(子育て・ビジネス・行政支援等の情報収集・提供) ○利用者支援(施設・設備の利活用促進)				○資料の収集・整備(図書・視聴覚・逐次刊行資料の収集・整備) ○資料・情報の提供(閲覧・館外貸出) ○地域支援(子育て・ビジネス・行政支援等の情報収集・提供) ○利用者支援(施設・設備の利活用促進)									
■事業費																	
				H29年度		H30年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	0										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	0	0										
歳入計(千円)				0		0											
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)											
歳出計(千円)(A)				0		0											
伸び率(%)																	
備 考	総合計画120ページ 予算書175ページ																
	平成29年度から、指定管理者制度の導入により、事業費はゆうき図書館管理運営事業へ移行																

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	コレクションの充実	点	目標	267,000.00	278,000.00	287,600.00
	平成28年度からの新規受け入れ点数の増加点数を算出し、経年推移させた。		実績	268,402.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	郷土・行政資料（図書）の蔵書数	冊	目標	10,000.00	10,350.00	10,600.00
	平成28年度からの新規受け入れ冊数の増加冊数を算出し、経年推移させた。		実績	10,104.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	指定管理者制度の導入が決定したため、引き続き実施主体の妥当性を検討し続ける必要があるため。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	実施主体の見直しに伴い、手段についても検討し続ける必要があるため。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	正職員に加え、多くの嘱託・臨時職員を雇用しており、人件費の改善の余地はないため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	図書館利用者に制限を設けておらず、偏りは見られないため。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	郷土・行政資料（図書）の蔵書数が目標値を上回ったため。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	地域の教育的・文化的基盤として機能し続けているため。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
コレクションの充実が図られてきているが、目標値を達成することはできなかった。今後は、資料購入費の安定的獲得とともに、寄贈資料の収集に一層努力していくことが必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
全ての利用者のニーズに対応できるよう、幅広く資料収集を行っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 貸出冊数や来館者数、登録者数の増加を目指すとともに、公共図書館として、常に地域の現状を把握することに努め、行政の施策を理解し、行政課題の解決のため、選書やイベント等の開催に反映していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。